

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M232W404	看護史・制度論 (Nursing in Society)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	4	後	火・3,4	原田千鶴 内線：5035 E-mail：charada@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

多様でかつ急速に変化しつつある社会状況を認識し、看護の歴史や法的基盤や制度の理解を通して、地域社会、国際社会から期待されている看護職専門職の役割や能力について考察し、看護の対象となる人々の生活の質を向上するための看護職者として自らの責務を考える。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 日本や欧米における社会の変化との関連で看護制度等の事象を説明する。					○		
2. 日本と欧米における職業としての看護の始まりと、看護教育の歴史変遷の概要を説明する。					○		
3. 日本と欧米の医療施設における看護の質の保証のための制度の概要を説明する。					○		
3. これからの看護専門職としての課題とその課題に対する取り組みについて提案する。				◎			

【授業の内容】

1	コースオリエンテーション 看護史・制度の概観
2	課題別学習準備：グループで課題を設定し資料収集・討議
3・4	課題別学習：グループで課題を設定し資料収集・討議
5	全体討議（中間発表）
6	課題別学習：グループで課題を設定し資料収集・討議
7・8	全体討議

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	授業終了時のレポート	・教科書・参考書等を使って事前に各自が準備をして授業に臨み、グループで理解を深め、全体で討議する。
B：意見の表現・交換	○	グループ検討	
C：応用志向	○	グループ間討議・発表	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	毎回各自のテーマにそった討議準備をして臨む（16h）
事後学修	学習した内容を確認し論点の整理と知識の定着をはかる（16h）

【教科書】 ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障④ 看護をめぐる法と制度 2024 メディカ出版

【参考書】 看護学概論（1年次購入）

系統看護学講座 別巻9 看護史（医学書院）

井部俊子（監修）：看護管理学習テキスト 第3版 第1巻 ヘルスケアシステム論，日本看護協会出版会，2022

野村陽子：看護制度と政策，法政大学出版会，2015

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3
グループワーク・全体討議での貢献度	50%	○	○	○
最終レポート	50%	○	○	○

【注意事項】 選択する学生は、履修の動機と、自身の学習課題を明確にしておくこと。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験	看護師・管理職（医療機関 国際人道救援機関）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	附属病院看護部
教員以外の指導に関わる実務経験者	かん	
実務経験をいかした教育内容	看護実務経験を交えて看護の歴史・看護制度について理解しやすく講義し、学生の主体的な学習を支援する。	
授業形態	面接授業	